Course number U-LAS29 200					29 SJ48							
	日本語アカデミック・プレゼンテーション apanese Academic Presentation Skills I					name I and d	ictor's , job title, epartment liation		Institute for Liberal Arts and Sciences Senior Lecturer, KAWACHI AYAKA			
Group La	Languages Field(						cation)					
Language of instruction	Japanese				Old	Old group			Number of credits 2		2	
Number of weekly time blocks	1					minar (Foreign lace-to-face cour		Year/semesters		2025 • Second semester		
Days and periods			Targ			ear students		Eligible students		International students		

## [Overview and purpose of the course]

- ・日本語でのアカデミック・プレゼンテーションのための日本語技能を高め、構成力、表現力等を 習得し、アカデミック・プレゼンテーションが確実に行えるようにする。
- ・また日本語でのディスカッションが行える表現方法を学習し、様々なテーマで自分の意見を表明 できるようにする。

## [Course objectives]

- ・自分の意見を表明するため、既習の日本語文法の整理をしたうえで、新たな日本語表現を習得す る。
- ・日本語でのプレゼンテーション構成能力・表現能力を養う。
- ・提起された問題への日本語での意見表出方法を習得する。
- ・様々な事象を表現できる日本語語彙を習得する。

## [Course schedule and contents)]

本講義では、必要な日本語表現やスキルを身につけながら、与えらたテーマでプレゼンテーション やディスカッションを行う。

- 第1回 ガイダンス、自己紹介
- 第2回 専門と研究テーマの発表
- |第3回 専門と研究テーマの発表
- 第4回 専門と研究テーマの発表
- 第5回 言語文化の発表
- 第6回 言語文化の発表
- |第7回 言語文化の発表
- |第8回 | 言語文化の発表
- |第9回 アンケート調査の発表
- 第10回 アンケート調査の発表
- 第11回 社会問題についてのディスカッション
- 第12回 自国の社会問題の発表
- 第13回 自国の社会問題の発表
- |第14回 自国の社会問題の発表
- 《プレゼンテーション試験》
- 第15回 フィードバック
  - 語彙、表現に関しては課題を出し、クイズを行う。

日本語アカデミック・プレゼンテーション (2)
[Course requirements]
日本語・日本文化研修留学生専用科目として開講する。
[Evaluation methods and policy]
・授業態度30%、プレゼンテーション・ディスカッション・提出課題・クイズ70%の割合で評価す
る。 ・成績評価については、授業内に詳細説明する。
[Textbooks]
授業中にハンドアウトを配付する。
[References, etc.]
( References, etc. ) Introduced during class
[Study outside of class (preparation and review)] 与えられた課題を適切に行うこと。
「Other information (office hours, etc.)]
[Other Information (office flours, etc.)]